電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

テレビ電話について 50
電話／テレビ電話をかける 50
音声電話とテレビ電話を切り替える 53
履歴を利用する ..... ＜リダイヤル＞＜発信履歴＞＜着信履歴＞ 54
着もじを設定する ..... ＜着もじ＞ 57
プッシュ信号を手早く送り出す ..... ＜ポーズダイヤル＞ 59
国際電話の利用について ..... ＜WORLD CALL＞ 60
国際電話の設定をする ..... ＜国際ダイヤルアシスト設定＞ 61
電話番号の先頭に付加する番号を登録する ..... ＜プレフィックス設定＞ 62
サブアドレスを指定して電話をかける ..... ＜サブアドレス設定＞ 62
再接続するときのアラームを設定する ..... ＜再接続機能＞ 62
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする ..... ＜ノイズキャンセラ＞ 63
ハンズフリーに切り替える ..... ＜ハンズフリー＞ 63
ハンズフリー対応機器を利用する ..... ＜車載ハンズフリー＞ 63

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話を受ける 64
音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける 65
着信時のボタン動作を設定する ..... ＜着信アンサー設定＞ 65
着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する ..... ＜オープン設定＞ 66
通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する ..... ＜クローズ動作設定＞ 66
相手の声の音量を調節する ..... ＜受話音量＞ 67
着信音の音量を調節する ..... ＜着信音量＞ 67

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないとき保留にする ..... ＜応答保留＞ 68
通話中に保留にする ..... ＜通話中保留＞ 68
保留音を設定する ..... ＜保留音設定＞ 68
公共モード(ドライブモード)を利用する ..... ＜公共モード(ドライブモード)＞ 69
公共モード(電源OFF)を利用する ..... ＜公共モード(電源OFF)＞ 69
かかってきた電話に出られなかったとき ..... ＜不在着信＞ 70
電話に出られないときに用件を録音／録画する ..... ＜伝言メモ設定＞ 71
着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する ..... ＜クイック伝言メモ＞ 72
伝言メモ・音声メモ・テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する ..... ＜メモの再生／消去＞ ＜テレビ電話メモの再生／消去＞ 72

テレビ電話を使いこなす

キャラ電を利用する 73
テレビ電話に関する便利な機能 74
テレビ電話のハンズフリーについて設定する ..... ＜テレビ電話ハンズフリー設定＞ 76
テレビ電話の画質を設定する ..... ＜受信画質設定＞ 76
テレビ電話の表示を変更する ..... ＜画像選択＞ 76
テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する ..... ＜音声自動再発信＞ 77
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する ..... ＜テレビ電話切替機能通知＞ 77
iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選択する ..... ＜パケット通信中着信設定＞ 77
外部機器と接続してテレビ電話を使用する 78

テレビ電話について

送受信する映像を見ながら通話できます。お買い上げ時には、相手に代替画像を送信します。

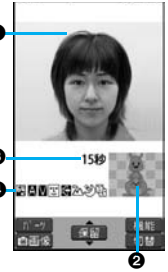
本FOMA端末は内側にカメラを搭載していませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラの映像となります。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- **3GPP(3rd Generation Partnership Project):**
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- **3G-324M:**
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- P905iTVは通信速度64kbpsのテレビ電話発信にのみ対応しています。32kbpsでの通話は可能ですが、テレビ電話発信はできません。

■テレビ電話中の画面について

❶… 受信映像(相手側のカメラ映像または代替画像)
❷… 送信映像(自分側の代替画像またはカメラ映像)
❸… 通話時間
❹… 状態表示



- :64K通信中
- :32K通信中
- :音声送信／受信中
- (グレー):音声送信／受信失敗※1
- :映像送信／受信中
- (グレー):映像送信／受信失敗※2
- :キャラ電通話中
- :代替画像送信中
- :カメラ映像送信中
- :ハンズフリーON
- :AV出力中
- :Bluetooth通話中
- :風景
- :接写
- :ナイトモード
- :キャラ電全体アクションモード
- :キャラ電パーツアクションモード
- :DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、送信映像は相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、受信映像は表示されません。

音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、(MENU)(登録)を押します。P.94手順2へ進みます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

2 音声電話をかける場合

または(●)(発信)を押す

- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

✉(テレビ電話)を押す

- 発信中は「ビデオ」が点滅し、通話中は点灯します。
- テレビ電話中に(MENU)(画像)を押すと、相手にはカメラ映像が表示されます。もう一度(MENU)(代替)を押すと、代替画像に戻ります。

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったら☎で通話を終了する

- FOMA端末を閉じた状態で通話しているときは、開いてから☎を押してください。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.422参照)が聞こえたときは、P.47「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。(P.393参照)
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.66参照)
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中は、DTMF送信モードに切り替えてください。(P.75参照)
- 2in1のモードがデュアルモードの場合はAナンバーまたはBナンバーを選択してから発信します。(P.428参照)

<音声電話の場合>

- ☎を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは☎を押して表示を消してからおかけ直しください。

お知らせ

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.76参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番・119番・118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。(P.60参照)

発信中の表示について

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.96参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号を押し間違えたときは

CLRを押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。CLRを1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- ○を押してカーソルを移動させ、CLRを押すとカーソルの位置の数字が消えます。CLRを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

テレビ電話がかからなかったときは

接続できなかった理由が表示されます。(通話する相手の電話機種別やネットワークサービスの契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。)

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中(相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。)
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知 (ビジュアルネットなどへの発信時)
転送致しますのでお待ち下さい	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過している
iモードから接続してください	iモード公式サイトのIP(情報サービス提供者)のサイトからテレビ電話発信していない(Vライブへの発信時)
接続できませんでした	発信者番号通知設定を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 上記以外の場合にも表示されることがあります。

自動再発信について

「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合、テレビ電話がつながらなかったときは自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など(2008年3月現在)、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

電話番号入力中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	P.46参照
プレフィックス	P.62参照
国際ダイヤルアシスト	P.61参照
テレビ電話画像選択	P.77参照
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。 (P.426参照)
電話帳登録	P.94参照
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.190手順3へ進みます。
着もじ	P.57参照

音声電話とテレビ電話を切り替える

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、「テレビ電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 音声電話中▶(テレビ電話)▶切替

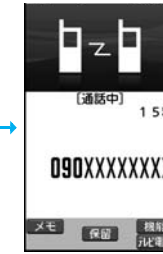
- 相手に送信する画像を選択する場合は、「テレビ電話画像選択」を選択します。P.77手順2へ進みます。
- 「中止」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、機能メニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 テレビ電話中▶(機能)▶音声電話切替▶YES

- 確認画面で「NO」を選択すると、切り替えを中止し、テレビ電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。



お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- iモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。電波状況によりさらに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。

つづく

お知らせ

- 相手がP.77「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。また、相手がP.138「テレビ電話着信拒否」を「ON」に設定している場合は、テレビ電話への切り替えはできません。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

＜リダイヤル＞＜発信履歴＞＜着信履歴＞

履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■リダイヤル

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし、プッシュトークの発信は同じ電話番号でも音声電話・テレビ電話とは別にリダイヤルが残ります。

■発信履歴

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの発信が合わせて30件、64Kデータ通信・パケット通信の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話・テレビ電話・プッシュトークの着信が合わせて30件、64Kデータ通信・パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。なお、電源を切っても削除されません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーと Bナンバーの履歴を合わせてリダイヤル60件、発信履歴90件、着信履歴120件まで記憶されます。

■リダイヤル・発信履歴・着信履歴のアイコン

音声電話／音声不在※	音声電話の発着信／不在着信
テレビ電話／テレビ不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
プッシュトーク／プッシュ不在※	プッシュトークの発着信／不在着信
プッシュトーク／プッシュ不在※	プッシュトークのグループ発着信／不在着信
プッシュトーク／プッシュ不在※	サーバの電話帳を利用したプッシュトークの発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音・録画
国際電話／国際不在※	国際電話の発着信／不在着信
国際テレビ電話／国際テレビ不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信
64K	64Kデータ通信の発信
64K／64K不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
パケット	パケット通信の発信
パケット／パケット不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信・パケット通信の着信
	着もじの受信
	時刻が時差補正された履歴
B	Bナンバーの履歴（2in1のモードがデュアルモードの場合のみ）

※ 未確認の不在着信の場合は反転表示されます。

リダイヤル・発信履歴を利用する

1 リダイヤルの場合

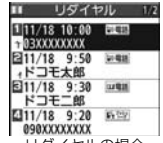
[○]を押す

発信履歴の場合

[MENU]▶電話帳▶発着信履歴▶発信履歴

履歴の一覧画面が表示されます。

- プッシュトークのリダイヤルの場合は、[○]（選択）を押すとグループ内のリダイヤル一覧画面が表示されます。
  相手を選んで[○]を押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずに[○]を押すとグループ発信できます。
- [MENU]（切替）を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。



リダイヤルの場合

2 履歴を選択

履歴の詳細画面が表示されます。

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.96参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。

リダイヤルの場合

着信履歴を利用する (MENU)(2)(4)

1 ○を押す

着信履歴一覧画面

- 「(MENU)▶電話帳▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信・不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。
  全着信 . . . . .不在着信を含むすべての履歴
  不在着信. . . .不在着信の履歴
  2in1のモードがデュアルモードの場合、Aナンバー・Bナンバーそれぞれの不在着信の件数も表示されます。
  (未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)
- プッシュトークの着信履歴の場合は、○(選択)を押すとグループ内の着信履歴一覧画面が表示され、発信者には「★」マークが付きます。相手を選んで◙を押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずに◙を押すとグループ発信できます。
- (MENU)(切替)を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

2 着信履歴を選択

着信履歴詳細画面

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。
  また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.96参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 着もじを受信した場合は、着もじメッセージが表示されます。

表示中のリダイヤル・発信履歴・着信履歴に電話をかけるには

(通話)を押して音声電話発信します。詳細画面では○(発信)を押しても音声電話発信できます。また、(メール)(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、◙を押すとプッシュトーク発信になります。

お知らせ

- 待受画面で(通話)を押して○を押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。
- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名が表示されます。「マルチナンバー」の「電話番号登録」をしている場合は、番号も表示されます。
- 64Kデータ通信の発信履歴は、Bluetooth機器を使用した場合は記憶されません。
- 着もじが表示されている着信履歴の電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけても、届いた着もじメッセージは送信されません。
- ダイヤルインを利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル・発信履歴・着信履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
発番号設定	P.46参照
プレフィックス	P.62参照
国際ダイヤルアシスト	P.61参照
2in1発信	2in1のモードがデュアルモードの場合に相手に通知する番号を選択します。(P.428参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.426参照)
着もじ	P.57参照
文字サイズ変更	一覧画面の文字サイズを切り替えます。(P.124「発着信履歴」参照)
電話帳登録	P.94参照 ●詳細画面で(MENU)(登録)を押しても電話帳に登録できます。P.94手順2へ進みます。
Feel＊Talk表示	P.119参照
呼出時間表示 [着信履歴一覧画面のみ]	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
デスクトップ貼付	P.122参照
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.190手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.230手順3へ進みます。
送信アドレス一覧 [リダイヤル・発信履歴のみ]	P.216参照
受信アドレス一覧 [着信履歴のみ]	P.216参照
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいリダイヤル・発信履歴・着信履歴にチェック▶(✉)(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
テレビ電話画像選択	P.77参照
プッシュトーク電話帳登録	▶YES
プッシュトークグループ登録	▶グループを選択 ●プッシュトーク電話帳に登録されていないメンバーがあるときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶グループ名を入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

＜1件削除＞＜選択削除＞＜全削除＞

●リダイヤル・発信履歴の機能メニューから「全削除」を行うと、リダイヤル・発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。

＜プッシュトーク電話帳登録＞

●電話帳に登録されていない相手の履歴からは登録できません。

＜プッシュトークグループ登録＞

●すべてのメンバーがFOMA端末(本体)の電話帳に登録されていないときは、プッシュトークグループに登録できません。

<着もじ>

着もじを設定する

音声電話やテレビ電話をかける際、相手側へメッセージを送り、呼び出し中に用件を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

着もじを受信したときは

発信元の下に着もじが表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。

- 着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中に着もじは表示されません。ただし、ロック解除後に着信履歴から確認することはできます。

着もじメッセージを登録する

メッセージ一覧に着もじを10件まで登録できます。

1 (MENU)▶サービス▶着もじ▶メッセージ作成▶<未登録>を選んで✉(編集)▶メッセージを入力

- 変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで✉(編集)を押します。
- 絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。

着もじメッセージをつけて発信する

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶着もじ▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
メッセージ作成	送信する着もじを発信時に作成します。 ▶メッセージを入力 ●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	メッセージ一覧から登録済みの着もじメッセージを選択します。 ▶メッセージを選択
送信メッセージ履歴	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが10件まで記憶され、同じ着もじを送信すると古いデータは削除されます。また、10件を超えると古いデータから順に削除されます。 ▶送信メッセージ履歴を選択

3 📞または●(発信)を押す

- ✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。
- 発信中は送信している着もじが表示されます。

お知らせ

- 着もじが相手側の端末に届いた場合は、「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や相手側の「メッセージ表示設定」で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は、「送信できませんでした」と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。

お知らせ

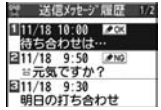
- 相手側が圏外のときや電源が入っていない場合や公共モード(ドライブモード)中、伝言メモ設定の呼出時間を0秒に設定している場合などは、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません(相手側の着信履歴にも保存されません)。また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
- テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 海外での利用時には着もじを送受信できません。

送信メッセージ詳細履歴

着もじを送信すると、送信メッセージ詳細履歴に10件まで記憶され、相手の電話番号や送信日時が確認できます。同じ番号に送信した古いデータも残ります。

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーと Bナンバーの履歴を合わせて10件まで表示できます。

1 MENU▶サービス▶着もじ▶送信メッセージ詳細履歴



OK . . . 送信できた着もじ
NG . . . 送信できなかった着もじ
B . . . . . Bナンバーの着もじ(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

- 送信結果が表示されなかった場合は、「OK」や「NG」は表示されません。
- 電波状態などによって、正しく送信結果が表示されないことがあります。

2 送信メッセージ詳細履歴を選択

- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

送信メッセージ詳細履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	送信した着もじをメッセージ一覧に登録します。 ▶<未登録> ●(✉)(登録)を押しても登録できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージ表示設定

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 MENU▶サービス▶着もじ▶メッセージ表示設定▶項目を選択

すべて表示 . . . . . すべての相手からの着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ . . . 電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ . . . . . 電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない . . . . . 着もじを表示しません。

お知らせ

- 「電話帳登録番号のみ」に設定していると、2in1のモードがAモードの場合はB設定の電話帳の相手(Bモードの場合はA設定の電話帳の相手)から着もじを受信できません。

着もじ優先設定

「オープン設定」を「着信応答」に設定しているときに、着もじを受信した場合の動作について設定します。

1 MENU▶サービス▶着もじ▶着もじ優先設定▶ON・OFF

ON . . . 着信中にFOMA端末を開いても応答せず、着もじが確認できます。
OFF . . . 着信中にFOMA端末を開くと着信に応答します。

<ポーズダイヤル>

プッシュ信号を手早く送り出す

MENU 8 4

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 MENU▶設定▶その他▶ポーズダイヤル▶✉(編集)

- すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
- 登録したポーズダイヤルを削除するには(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 ダイヤルデータを入力

- ポーズ(p)は＊を1秒以上押して入力します。
- 入力できる文字は、0～9、#、＊およびポーズ(p)のみです。
- 128桁まで入力できます。
- ポーズダイヤルの先頭と最後にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

1 MENU▶設定▶その他▶ポーズダイヤル▶●(送信)▶電話番号を入力▶📞または●(発信)

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- ○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

2 相手が応じたことを確認▶📞または●(送信)

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。

📞または●(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

最後の番号を送り終えると通話画面になります。

- ダイヤルデータをまとめて送出するときは、○を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

- 通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL>

国際電話の利用について

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（「電話番号を入力して国際電話をかける」の操作手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

国際テレビ電話について

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し「国際テレビ電話」がご利用いただけます。「電話番号を入力して国際電話をかける」の操作手順で(通話)または(●)(発信)の代わりに(✉)(テレビ電話)を押して発信します。(P.60参照)

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶(通話)または(●)(発信)

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに(0)を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、009130−010などの国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- 「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」に設定していると、「国際プレフィックス設定」の国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 (0)（1秒以上）▶国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶(通話)または(●)(発信)▶発信

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (✉)(テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、国際電話アクセス番号を付加せずに発信されます。

国際ダイヤルアシスト

電話番号に国番号や国際電話アクセス番号を付加して発信します。(一部の国・地域を除き、電話番号が「0」で始まる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。)

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶国際ダイヤルアシスト▶国名称を選択▶名称を選択▶(発信)または(発信)

- (テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 電話番号の先頭が「+」のときは国際電話アクセス番号のみ選択できます。
- 国名称に「日本」を選択した場合、名称を選択する画面は表示されません。

＜国際ダイヤルアシスト設定＞

国際電話の設定をする

自動変換機能設定

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭の「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 (MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶自動変換機能設定▶ON・OFF▶国名称を選択▶名称を選択

- 国番号や国際電話アクセス番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国番号の場合はP.61「国番号設定」手順2、国際電話アクセス番号の場合はP.61「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。

国番号設定

海外から国際電話をかけるときに付加される国番号を27件まで登録できます。

1 (MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国番号設定▶＜未登録＞を選んで(編集)

- 登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 国名称を入力▶国番号を入力

- 国名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国番号は5桁まで入力できます。ただし、#、*、+は使用できません。

国際プレフィックス設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加される国際電話アクセス番号を3件まで登録できます。

1 (MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国際プレフィックス設定▶＜未登録＞を選んで(編集)

- 登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 名称を入力▶国際電話アクセス番号を入力

- 名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国際電話アクセス番号は16桁まで入力できます。

国番号設定表示中・国際プレフィックス設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	国番号設定の場合はP.61「国番号設定」手順2、国際プレフィックス設定の場合はP.61「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。 ●(編集)を押しても編集できます。

つづく

機能メニュー	操作・補足
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜1件削除＞＜全削除＞

- 「自動変換機能設定」で設定されている国番号や国際電話アクセス番号は削除できません。

＜プレフィックス設定＞

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 (MENU)▶設定▶ネットワーク設定▶プレフィックス設定▶＜未登録＞を選んで✉(編集)

- 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- 登録済みのプレフィックスを削除するには(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 登録名を入力▶プレフィックス番号を入力

- 登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- プレフィックス番号は16桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、0～9、#、＊のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶プレフィックス▶登録名を選択▶📞または●(発信)

- ✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、●を押すとプッシュトーク発信になります。
- プッシュトーク発信する場合、電話番号の前に「186」や「184」などのプレフィックス番号を付けて発信しても無効になります。

＜サブアドレス設定＞

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 (MENU)▶設定▶その他▶サブアドレス設定▶ON・OFF

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

＜再接続機能＞ (MENU)(7)(7)

再接続するときのアラームを設定する

電波の状態が悪くなって音声電話、テレビ電話、プッシュトークが途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 (MENU)▶設定▶通話▶再接続機能▶アラームを選択

お知らせ

- 利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

＜ノイズキャンセラ＞ MENU 7 6

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

1 MENU▶**設定**▶**通話**▶**ノイズキャンセラ**▶**ON・OFF**

＜ハンズフリー＞

ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカーから流れます。

1 **通話中**▶

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- 通話中にハンズフリーを切り替えることができます。テレビ電話・プッシュトークの場合、発信中や接続中も切り替えることができます。
- もう一度を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカーから流れます。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカーから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

＜車載ハンズフリー＞

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット　01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー対応機器と接続できます。

- **ケーブル接続（USB接続）で利用する：**
  車載ハンズフリーキット　01（別売）で利用／充電する場合、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01（別売）が必要です。
- **Bluetooth接続（ワイヤレス）で利用する：**
  Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末にて機器の登録や接続が必要です。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ケーブル接続（USB接続）で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「」が表示されます。
- USBハンズフリー対応機器によっては、接続中に「」、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定して接続中に「」が表示されることがあります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

- 着信時に振動させるには、「バイブレータ」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。
- テレビ電話がかかってきたときは、「テレビ電話着信中」と表示されます。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の左上に「」が表示されます。

着もじ(P.57参照)

2 音声電話に出る場合

または(通話)で電話に出る

テレビ電話に出る場合

または(通話)でテレビ電話に出る

代替画像が相手に送信されます。

- 通話中にMENUを押すと、相手に送信する映像を代替画像とカメラ映像とで切り替えることができます。

3 お話が終わったら(☎)で通話を終了する

- FOMA端末を閉じた状態で通話しているときは、開いてから(☎)を押してください。

お知らせ

- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.66参照)
- お話し中に「ププ…ププ…」という音「通話中着信音」が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス . . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。(P.417参照)
  キャッチホン . . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(P.418参照)
  転送でんわサービス . . . 登録した転送先へ転送できます。(P.421参照)
- 「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

お知らせ

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.76参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.50参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめ確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。

着信中の表示について

相手の電話番号が通知されたとき

電話帳に相手の名前、電話番号および画像を登録している場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録している場合、検索順(P.96参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中は、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、[カメラ]([切替])を押して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。(P.137参照)

着信中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
着信拒否	電話に出ないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	P.421参照
留守番電話	P.417参照

音声電話/テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。
電話をかけてきた相手が音声電話/テレビ電話に切り替えると、切り替え中である旨のメッセージが表示され音声ガイダンスが流れて切り替わります。

- 着信側から切り替えることはできません。

<着信アンサー設定>

着信時のボタン動作を設定する

[MENU] [5] [8]

電話がかかってきたときやプッシュトーク着信したとき、[決定]、[発信]、[プッシュトーク](プッシュトークの場合)以外のボタンで通話を開始したり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。

1 [MENU]▶設定▶着信▶着信アンサー設定▶ボタン動作を選択

エニーキーアンサー

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話※1	[決定]、[発信]、[0]~[9]、[*]、[#]、[CLR]、[MENU]、[カメラ]※2、[ボイスレコーダー]、[▲]、[▼]
プッシュトーク	[決定]、[発信]、[プッシュトーク]、[0]~[9]、[*]、[CLR]、[メール]、[カメラ]、[ボイスレコーダー]、[▲]、[▼]

- テレビ電話がかかってきた場合、[決定]、[発信]で通話を開始できます。

つづく

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話※1	0～9、＊、#、CLR、MENU、📷※2、●、∧、▲
テレビ電話	0～9、＊、#、CLR、MENU、📷※2、●、∧、▲
プッシュトーク	0～9、＊、CLR、✉、📷、●、∧、▲

- 着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めたあとに、●、☎、🎙（プッシュトークの場合）を押すと通話を開始できます。
- テレビ電話着信の場合、FOMA端末を閉じているときに∧、▲を押しても、着信音、バイブレータ、音声読み上げは止まりません。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	●、☎
テレビ電話	●、☎
プッシュトーク	●、☎、🎙

※1 伝言メモが5件録音されているときは、✉を押してもエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になります。

※2「切替」が表示されているときは、通話を開始したり、着信音やバイブレータ、音声読み上げを止めたりできません。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。（P.393参照）

<オープン設定>

着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶着信▶オープン設定▶着信の種類を選択▶着信継続・着信応答

<クローズ動作設定>　MENU 1 8

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

音声電話中／テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶通話▶クローズ動作設定▶電話／テレビ電話▶項目を選択

通話継続 . . . 通話を継続します。設定が終了します。
保留 . . . . . 閉じている間、相手に「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が送信されます。
終話 . . . . . 通話を終了します。通話中に☎を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 スピーカー鳴動する・スピーカー鳴動しない

スピーカー鳴動する . . . . . 保留音をスピーカーから流します。
スピーカー鳴動しない . . . 保留音をスピーカーから流しません。

プッシュトーク中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 MENU▶設定▶通話▶クローズ動作設定▶プッシュトーク▶スピーカー通話・終話

お知らせ

- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは無効になります。通話中にFOMA端末を閉じても通話状態は変化しません。ただし、「保留」または「終話」に設定し、テレビ電話でカメラ映像を送信しているときにFOMA端末を閉じた場合は、相手には代替画像が送信され通話が継続します。

＜受話音量＞

相手の声の音量を調節する

1 MENU▶設定▶通話▶受話音量▶○または▲▼で受話音量を調節

レベル1(最小)～レベル6(最大)の6段階で調節します。

- 通話中、プッシュトーク中や呼出中は○または▲▼、電話番号入力中は○(1秒以上)を押して受話音量を調節します。2秒以内に○または▲▼を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話やプッシュトークのスピーカー通話時の音量も調節されます。

＜着信音量＞ MENU 5 0

着信音の音量を調節する

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 MENU▶設定▶サウンド▶着信音量▶着信の種類を選択▶○で音量を調節

- 着信音量を「消去」に設定中は、待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - S♪:音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかの着信音量を「消去」
  - S✉:メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
  - S♪✉:音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかと、メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
- 音声電話、テレビ電話の着信中は○または▲▼を1秒以上押しても着信音量を調節できます。ただし、以下の場合は着信音量を調節できません。
  - ・FOMA端末を閉じた状態でのテレビ電話着信中
  - ・着信音量が「ステップ」に設定されている場合
  - ・「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定し、着信音や音声読み上げを止めた場合
  - ・マナーモード中
  - ・「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信

＜応答保留＞

すぐに電話に出られないとき保留にする

1 着信中▶(☎)

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。

- マナーモード中や「着信音量」を「消去」に設定しているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 電話に出られるようになったら(●)(通話)または(☎)で保留を解除する

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、(0)～(9)、(＊)、(#)、(CLR)、(MENU)、(📷)、(●)、(∧)、(▲)または(▼)、(✉)、(iα)を押しても音声電話の保留を解除できます。
- テレビ電話の保留を解除した場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に(☎)を押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞

通話中に保留にする

1 通話中▶(●)(保留)

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 電話に出られるようになったら(●)(通話)または(☎)で保留を解除する

- テレビ電話の保留を解除した場合、相手には代替画像が送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くと電話に出ることができます。

お知らせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

＜保留音設定＞

保留音を設定する

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 (MENU)▶設定▶通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択

応答保留音1・2 ……FOMA端末にあらかじめ登録されているガイダンスが流れます。

主よ人の望みの喜びよ ……メロディが流れます。通話中保留音にのみ設定できます。

おしゃべり ……「おしゃべり機能」で録音した音が流れます。録音されていないときは表示されません。

- (✉)(デモ)を押すと保留音が再生されます。(CLR)を押すとデモ再生が終了します。

＜公共モード(ドライブモード)＞

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 ＊を1秒以上押す

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ

- 公共モードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「📳」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
- 緊急通報110番／119番／118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
- 公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

公共モード(ドライブモード)に設定したときは

- 電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。
  ただし、電源が入っていないときや画面に「📳」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「📳」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
- メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
- 64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、iアプリ実行中のメロディも鳴りません。
- iチャネルのテロップは表示されません。
- 公共モード(ドライブモード)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.70参照。

＜公共モード(電源OFF)＞

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 「＊25251」を入力▶📞

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)
公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「＊25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「＊25259」に発信します。

公共モード(電源OFF)に設定したときは

「✳25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。
・公共モード(電源OFF)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.70参照。

■公共モード(ドライブモード／電源OFF)に設定中の着信動作

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、転送先に転送します。 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、公共モードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

＜不在着信＞

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1 ●▶●(選択)

- ☎またはCLRを押すと元の状態に戻ります。
- アイコンが複数あるときは●でアイコンを選んで●(選択)を押します。

<伝言メモ設定> MENU 5 5

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

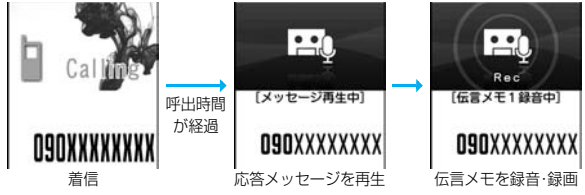
1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定▶ON・OFF▶応答メッセージを選択

- ✉(デモ)を押すと応答メッセージが再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり」に設定した場合、音は鳴りません。

2 呼出時間(秒)を入力

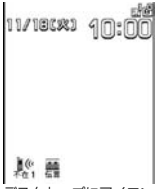
- 「000」～「120」の3桁を入力します。
- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「」～「」(音声電話の録音件数)、「」～「」(テレビ電話の録画件数)が表示されます。

伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは



テレビ電話の場合、応答メッセージの再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

- 応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音・録画中に電話に出るときは●(通話)または📞を押します。
  テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。
  平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても電話に出ることができます。



デスクトップにアイコンを表示(P.121参照)

お知らせ

- 「」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード(ドライブモード)と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード(ドライブモード)が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり」に設定しているときに、「おしゃべり」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。

つづく

お知らせ

- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

＜クイック伝言メモ＞

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音・録画できます。

1 着信中▶✉(メモ)または▼

マナーモードも設定されます。
相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音・録画が開始されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されている場合や、プッシュトーク着信の場合は、伝言メモは動作しません。▼を押して操作した場合、マナーモードのみ設定されます。
- テレビ電話着信の場合や、「サイドボタン操作」を「無効」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに▼を押しても伝言メモやマナーモードの動作にはなりません。

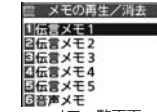
＜メモの再生／消去＞
＜テレビ電話メモの再生／消去＞

伝言メモ・音声メモ・テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

MENU 5 5

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶メモの再生／消去▶伝言メモまたは音声メモを選択



メモ一覧画面

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生中はメモが録音された日付・時刻が表示されます。相手が電話番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、以下の場合は名前の表示は行わず、電話番号だけが表示されます。
  ・シークレット登録された相手からの伝言メモを通常モードで再生したとき
  ・2in1をご利用中にAナンバー宛の伝言メモをBモード中に再生したとき（またはBナンバー宛の伝言メモをAモード中に再生したとき）
- 再生中に相手の電話番号が表示されているときは、📞を押して相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、📷を押すとプッシュトーク発信できます。

▼を使って再生するには

待受画面で▼を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

次のメモを再生するには

再生中に▼を押すごとに、次に新しい伝言メモ→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

再生を途中で止めるには

●(停止)またはCLRを押します。

テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶テレビ電話メモの再生／消去▶テレビ電話伝言メモまたは動画メモを選択

テレビ電話メモ一覧画面

- テレビ電話メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- iモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付・時刻が表示されます。

▼を使って再生するには

待受画面で▼を1秒以上押すと、一番新しいテレビ電話伝言メモが再生されます。テレビ電話伝言メモが録画されていない場合は、一番新しい動画メモが再生されます。

再生を途中で止めるには

●(■)またはCLRを押します。

メモ一覧画面・テレビ電話メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中にi-αppli(消去)を押しても、1件消去できます。
伝言メモ消去	メモ一覧画面では伝言メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
動画メモ消去 [テレビ電話メモ一覧のみ]	動画メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモ、動画メモをすべて消去します。 ▶YES

キャラ電を利用する

キャラ電を相手に送信するための設定を行います。

●キャラ電についてはP.320参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶✉(テレビ電話)

相手の電話番号を入力し、✉(テレビ電話)を押してテレビ電話をかけます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、○を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- ○を押して着信履歴、○を押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ

- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶i-αppli(機能)▶代替画像設定

- キャラ電一覧画面ではMENU(代替)を押しても設定できます。

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補定
キャラ電切替	▶キャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●(米)を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(🤸)またはパーツアクションモード(🧍)に切り替えます。 ●✉を押しても切り替えることができます。
内蔵代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「内蔵」の静止画に切り替えます。
自作代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

送信映像を切り替える

相手に送信する映像を代替画像からカメラ映像に切り替えます。
キャラ電についてはP.320参照。

1 テレビ電話中▶MENU(画像)

相手にはカメラ映像が送信されます。
カメラ映像送信中は「📷」が表示されます。
●もう一度MENU(代替)を押すと、カメラ映像から代替画像に切り替わります。

お知らせ

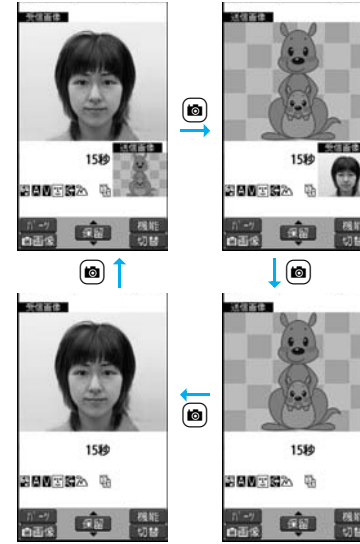
●相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話帳の設定」、「グループ設定」は無効になりますのでご注意ください。
●代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

映像の表示位置を切り替える

受信映像と送信映像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中に📷(切替)を押す

●📷(切替)を押すごとに表示が切り替わります。



ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ映像のズームを調節します。テレビ電話中のカメラの最大倍率は約6.8倍です。

1 テレビ電話中▶[ ]でズーム倍率を調節

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
音声電話切替	P.53参照
フォトライト テレビ電話起動時 OFF	カメラ映像を相手に送信しているときにフォトライトを点灯します。 ▶**ON・OFF**
通話機切替	FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを設定します。(P.400参照)
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
テレビ電話設定(受信画質設定)	P.76参照
テレビ電話設定(明るさ調節) テレビ電話起動時 0	相手に送るカメラ映像の明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 ▶**明るさ調節**▶**明るさを選択**
テレビ電話設定(ホワイトバランス) テレビ電話起動時 オート	相手に送るカメラ映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス**▶**項目を選択** **晴天** . . . . . 屋外晴天下で通話するとき **曇天** . . . . . 曇天や日陰で通話するとき **オート**. . . . ホワイトバランスを自動調整するとき **電球** . . . . . 電球照明下で通話するとき
テレビ電話設定(色調切替) テレビ電話起動時 通常	相手に送るカメラ映像の色調を切り替えます。 ▶**色調切替**▶**色調を選択**
テレビ電話設定(ナイトモード) テレビ電話起動時 OFF	露光を長くして、暗いところでも相手に送る映像が鮮明になるように設定します。 ▶**ナイトモード**▶**ON・OFF**
テレビ電話設定(フォーカス設定) テレビ電話起動時 風景	テレビ電話中のカメラのフォーカスを設定します。 ▶**フォーカス設定**▶**接写・風景**
キャラ電設定	P.74参照
照明設定	画面の照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。 ▶**常時点灯・15秒点灯**
液晶AI	P.115参照
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。
ボタン操作ガイド	テレビ電話中のボタン操作のガイドを表示します。

<テレビ電話ハンズフリー設定>

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 (MENU)▶設定▶テレビ電話▶テレビ電話ハンズフリー設定▶ON・OFF

- ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.63参照。

<受信画質設定>

テレビ電話の画質を設定する

ディスプレイに表示される受信映像と送信映像の両方の画質を設定します。

1 (MENU)▶設定▶テレビ電話▶受信画質設定▶画質を選択

- 「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
- テレビ電話中の機能メニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク状になるときがあります。

<画像選択>

テレビ電話の表示を変更する

相手に送信する画像を設定します。

1 (MENU)▶設定▶テレビ電話▶画像選択▶項目を選択

応答保留選択……応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択……通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択……カメラOFF時の代替画像(静止画またはキャラ電)を設定します。
伝言メモ選択……伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択……伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
動画メモ選択……動画メモ録画中の画像を設定します。

2 画像を選択

内蔵……FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作……状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電……「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.73参照)
(手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。)

- (✉)(デモ)を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。
- 「自作」または「キャラ電」の設定を変更するには、(iα)(機能)を押して「設定内容変更」を選択し、静止画またはキャラ電を選択します。「自作」を選択していた場合はフォルダを選択してから静止画を選択します。設定可能な静止画については「ピクチャ貼付」参照。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 電話番号を入力
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶テレビ電話画像選択▶キャラ電▶キャラ電を選択

- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

＜音声自動再発信＞

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 MENU▶設定▶テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF

お知らせ

- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- 相手が話し中や公共モード(ドライブモード)中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。ただし、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は、音声自動再発信を行います。

＜テレビ電話切替機能通知＞

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 MENU▶設定▶テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
切替機能通知開始	▶YES▶OK
切替機能通知停止	▶YES▶OK
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。

＜パケット通信中着信設定＞

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選択する

1 MENU▶設定▶着信▶パケット通信中着信設定▶項目を選択

テレビ電話優先……テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。
パケット通信優先……テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。
留守番電話……かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ……かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

つづく

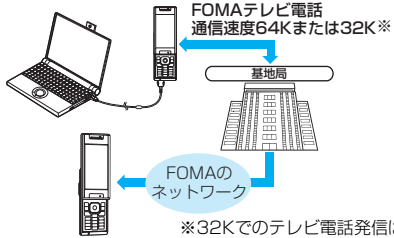
お知らせ

●留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01/02(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

●テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
●本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
(パソコンでのご利用環境など詳細についてはサポートホームページでご確認ください。)
http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/



※32Kでのテレビ電話発信はできません。

お知らせ

●音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。

お知らせ

●キャッチホンを契約していると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。